

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

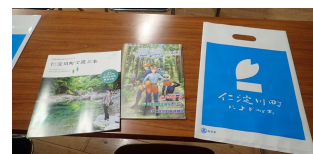
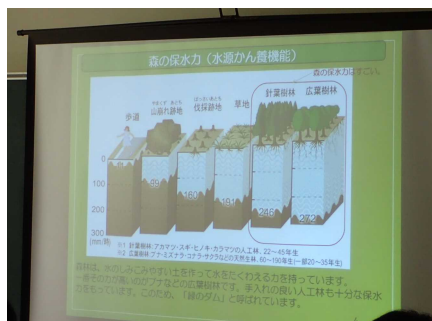
「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：和建設株式会社様
開催場所：「和の森」
開催日：令和4年8月19日（金）
参加者数：19名
（和建設株式会社様、高知大学生、
仁淀川町森林組合、仁淀川町、高知県）

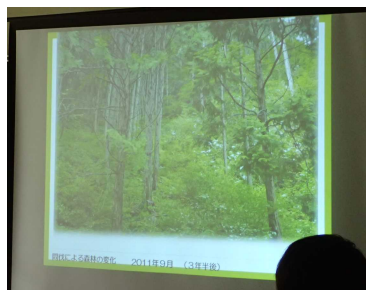
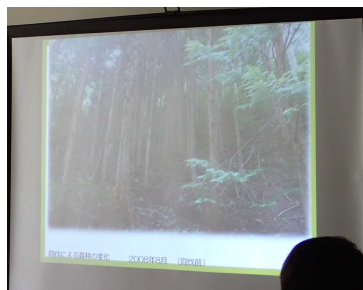


仁淀川町長坂山に位置する「和の森」で、初めての交流活動が行われました。
和建設様は、早速「和の森」オリジナルTシャツと看板を作ってきてくださいました。
まずは、集落活動センター・山村自然楽校しもなの郷で座学です。

＜座学の様子＞



仁淀川町産業建設課の奥田課長補佐から、森林の多面的機能や間伐の必要性、町の取組などをお話しいただきました。



間伐前と間伐後の経過写真を見ることで、森林の手入れの重要性を学ぶことができました。



座学の最後に和建設様から、SDGsへの取組や協働の森参画に至った経緯、これから協働の森を通して行ってきたいことなどをお話しいただきました。

次は間伐体験です。

体験場所である「和の森」まで車で30分ほど移動します。現地に着いた後は間伐の準備をし、森林組合の職員さんから間伐方法のお手本を見せていただきました。その後は2班に分かれて、いよいよ体験スタートです。

<間伐体験の様子>



慣れない作業に悪戦苦闘しながら、交代で切り進めていきました。はじめは「絶対筋肉痛になる」「ひー、しんどい」といった声が上がっていましたが、だんだんとコツをつかみ最後の方はもくもくと作業を進めていました。

間伐体験の後は、間伐した丸太をチェーンソーで切る体験をしました。森林組合の職員さんからの説明を受けた後、チャップス（防護具）を着て、手順どおりに切っていました。



体験で汗を流した後は、清流仁淀川の支流である中津川であめごのつかみ取りをしました。透き通った冷たい川で涼をとり、昼食を食べて、解散となりました。

参加された皆さま、準備してくださった皆さま、お疲れ様でした！



人が森を助ける。
森が人を助ける。